

読書の感動をすべての人に

～今年は国民読書年～

読書の楽しさや大切さを再確認し、読書に親しむ気運を盛り上げようと、
国は2010年を「国民読書年」とすることを国会決議しました。

この決議では、国民の読書への意識を高めるため、

政官民が協力し、国をあげて努力することが宣言されています。

これを受け、今年はこれまで以上に各地で読書の楽しさを伝える取り組みがなされています。



県立図書館で毎週行われている「おはなし会」は、いつも子どもやお母さんたちの笑顔でいっぱいです。

県内各地の図書館でも読み聞かせなどの催しを行っています。ぜひ、親子で参加してみたいかがでしょうか。

鹿児島県が全国に誇る「親子20分読書運動」

今年、国民読書年であると同時に、郷土の児童文学作家であった椋鳩十氏が提唱し、全国的な運動に広がった「親子20分読書運動」が始まって50周年を迎える年です。

この運動は、あたたかい親子のふれあいを通して、子どもたちの豊かな人間性や感性、ことばの力を育てていくことを目指し始まりました。

鹿児島県は、全国的にも子どもたちの読書量が多く、「家庭で子どもたちが読書の時間をもつ豊かな生活を」と願った椋鳩十氏の思いが今日に至るまで、しっかりと受け継がれています。



椋鳩十氏

私たちは、この運動を「子どもの読む、楽しい物語に、静かに耳をかたむけてくれる、心の膚の細かいお母さんを…その間だけ、ほんとは、私だけのお母さんを…」子どもの手にとりかえす運動でもあると考えているのである。

(椋鳩十著「合本・母と子の20分読書」より)

図書館は宝の山

図書館は、さまざまなジャンルの本や資料、役立つ情報がいっぱいの宝の山。県内にも、県立と市町村立を合わせて93の図書館および公民館図書館があり、それぞれ特色のある取り組みを行っています。ぜひ、足を運んでみてください。

自分の力を生かそう

県内各地の図書館ではボランティアの方々が活躍しており、県立図書館では、図書館ボランティアの養成講座も行っています。

また、県立図書館では読書グループや学校などの読書指導に関する来館研修の受け入れもしています。なお、講師派遣については、市町村教育委員会や図書館などにお尋ねください。



↑ 図書館ボランティアの仕事は、本の整架や修理、子どもたちへの読み聞かせなど。それぞれ、自分の力を生かした活動を行っています。



便利なシステム

県立図書館にある本は、ホームページで検索でき、図書館でもタッチパネルの分かりやすい端末で、見たい本をすぐに検索することができます。



また、レファレンス(調査相談)カウンターで図書館司書に本や鹿児島島の情報などについて質問や相談、資料調査の依頼などをすることができます。



←レファレンスカウンターでは調査資料を探し、研究などで資料を探します。

このほかにも、探している本が、訪れた図書館にない場合、県立図書館と県内各市町村の図書館は連絡を取り合っており、互いに所蔵している本を相互貸借し、利用者に貸し出すシステムもあります。

見つける楽しさ

県立図書館では昔(明治15年～)の新聞記事もマイクロフィルムで閲覧することができます。

自分が生まれた日にどんなにか調べよう



県立図書館のお勧めの本リストとして発行している「こどもの本児童図書モデルリスト」、「鹿児島の高校生が薦める本」は県立図書館および県内の市町村立図書館に設置しています。また県立図書館のホームページでもご覧になれます。



あなたの町の図書館

南九州市川辺 ひまわり館 平成21年7月にオープン

三つの町が合併した南九州市の図書館は、知覧は「歴史」、瀬田は「産業」、川辺は「児童本」を主に収集しており、旧町の特徴を生かした図書館作りをしています。



講座案内

第2回しろやま教養講座

- 期日: 9月11日(土)
- 場所: 鹿児島県立図書館大研修室
- 内容: 【講演】「いつも町歩きそばに本があった」
【講師】 かごしま探検隊の会
代表理事 東川隆太郎氏

ボランティア養成講座

- 期日: 平成23年2月23日(水) ~24日(木)
- 場所: 鹿児島県立図書館
*12月申込受付

詳しくは、県立図書館まで、お問い合わせください。



【お問い合わせ先】 鹿児島県立図書館 ☎099-224-9511 <http://www.pref.kagoshima.jp/kentoshou/index.html>